

第五十九回帝國議會
衆議院

勞働者災害扶助法案外二件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

勞働者災害扶助法案(政府提出)
勞働者災害扶助責任保險法案(政府提出)
勞働者災害扶助責任保險特別會計法案(政府提出)

會議

昭和六年三月十二日(木曜日)午前十一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山邊 常重君

理事 坂東幸太郎君

理事 村上紋四郎君

理事 崎山 武夫君

竹田 儀一君 小山 令之君

栗山資四郎君 眞鍋 儀十君

佐藤 與一君 氏家 清君

安藤 正純君 牧野 良三君

板谷 順助君 原 惣兵衛君

西尾 末廣君

同日委員村岡吾一君、伊禮肇君及三好榮次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小山令之君、竹田儀一君及栗山資四郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

内務參與官 一宮房治郎君

社會局部長 富田愛次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働者災害扶助法案(政府提出)

勞働者災害扶助責任保險法案(政府提出)

勞働者災害扶助責任保險特別會計法案

案(政府提出)

○山邊委員長 開會前ニ御挨拶ヲ申上

ゲマス、皆様ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ委員長ノ職ヲ汚スコトニナリマシタ、何分ニモ薄學菲才能ク其責任ヲ完

ウシ得ルヤ否ヤ頗ル憂慮ニ堪ヘナイモ

ノガアリマス、何卒皆様方ノ御後援ト

御援助ニ依リマシテ、無事ニ此職責ヲ

完ウシマスルヤウニ、此上共御援助ヲ

御願致シマス、以上ヲ以テ開會ノ挨拶

ト致シマス——是ヨリ會議ヲ開キマス

先ヅ政府委員ノ說明ヲ求メマス

○一宮政府委員 勞働者災害扶助法案

及ビ勞働者災害扶助責任保險法案ノ要

領ニ付テ御說明ヲ簡單ニ申上ゲマス、

勞働者災害扶助法案ハ土木建築工事、

土石採取業、鐵道、軌道、自動車運輸

業、仲仕業等ノ勞働者ノ業務上ノ傷病

ニ對シマシテ、事業主ヲシテ扶助セシ

メントスルモノデアリマス、斯ノ如キ

扶助ノ制度ハ工場鑛山ニ於キマシテハ

工場法及ビ鑛業法ニ依ッテ現ニ行ハレ

テ居ル所デアリマシテ、今回ノ法案ハ

要スルニ現ニ工場鑛山ニ行ハル、扶助

ノ制度ヲ爾餘ノ諸工業ニモ擴張スル趣

意ニ外ナラナイデアリマス、本法ノ

主要ナル内容ハ第一ニ適用範圍ニ關ス

ルコトデアリマス、本法案ハ鑛山工場

以外ニ於テ相當危險ノアル産業ニ適用

セントスルモノデアリマシテ、適用事

業ノ種類ヲ第一條第一項第一號乃至第

四號ニ列舉致シマシテ、而シテ是等ノ

事業中特ニ危險ナモノハ、事業ノ規模

如何ヲ問ハズシテ適用致シマスルシ、

ソレ程デモナイモノハ相當危險以上ノ

モノニ限ッテ適用セントスルモノデア

リマス、即チ石切業及ビ土石採取業ニ

付キマシテハ、地下作業又ハ火藥爆彈

ヲ使用スルモノハ、使用人員ノ如何ヲ

問ハズシテ之ヲ適用シ、其他ハ十人以

上ノ勞働者ヲ使用スルモノニ限ッテ之

ヲ適用シ、又貨物取扱業ニ付キマシテ

ハ、動力機械ヲ使用スルモノハ使用人

員如何ヲ問ハズシテ之ヲ適用シ、其他

ハ十人以上ノ勞働者ヲ使用スルモノニ

限ッテ居ルノデアリマス、自動車運輸業

ニ付キマシテハ、使用人員ヲ以テ適否

ヲ區別致シマセズ、一定ノ設備ニ依ル

モノニハ之ヲ適用シ、然ラザルモノニ

ハ適用セザルコト、致シマシタ、土木

建築工事ニ付テハ、適用範圍ニ入ルベ

キ規模ハ勅令ニ依ッテ定ムルコト、致

シテアリマスルガ、原則トシテ、工事

費用一萬圓以上又ハ使用延人員千人以

上ノモノニ限り、作業ノ特ニ危險ナル

モノニハ、ソレ以下ノ規模ノモノニモ

ノ實情ニ最モ適切ナモノト考ヘテ居ルノデアリマス、土石ノ採取業及ビ貨物取扱ノ事業ニ付テハ、事業主ガ唯一人ノ注文ニ依ッテ事業ヲ經營シテ居リマシテ、且ツハ事業主ノ負擔ヲ容易ナラシムル爲ニ保險ノ制度ヲ設ケントスルモノデアリマス、本保險ハ事業主ノ扶助責任ヲ保險スルモノデアリマスカラ、其態様ハ事業主ノ保險デアリマスカラ、本保險ト扶助トハ密接不可分ノ關係ニアリ、實質ニ於テハ社會保險ノ作用ヲ爲シ、又扶助ニ關スル事業主ト勞働者ノ紛議ハ、多クノ場合保險者ニ依ッテ解決セラレルトコト、ナリマスカラ、本保險ハ國營保險トシタノデアリマス、保險ニ加入スル範圍ニ付テハ土木建築工事ニ付テハ、勞働者ノ保護及ビ事業主ノ便宜ノ兩方面ヨリ劃一的ニ強制スルコト、シ、其他ノ事業ニ付テハ任意加入ノコト、致シマシタ、從來カラ保障ノ行ハレテ居ッタ工場鑛山ニ付テモ、國營保險ヲ設ケタ以上、保險ノ途ヲ開クテ適當ト考ヘ、任意加入ヲ認メル豫

定デアリマス、本保險ハ本來事業主ノ負擔タル扶助ノ責任ヲ保險スルノデアリマスカラ、保險料ハ全部事業主ノ負擔トシ、國庫ハ初年度ニ於テ準備費ヲ醸出スル外、何等負擔ヲ爲サル方針デアリマス
以上ハ兩法案ノ内容ノ説明デアリマス、詳細ハ御質問ニ應ジテ御説明申上

ウニ私ハ見受ケルノデアリマスカ、若シ國家ガ補助ヲスル——或ハ全然損失ヲ豫想シテ居ナイト致シマシタナラバ、隨テ保險料ト云フモノガ自然高クナル、保險料ガ高クナルト云フコトハ要スルニ事業主ノ負擔ガ重クナリ、其結果勞働者ニ轉嫁サレテ、却ッテ勞働者ヲ保護スルト云フ趣意ニ副ハヌ結果ヲ生ジハシナイカ、斯ウ考ヘラレルノデアリマスカ、之ニ對ス御意見ハ如何デアリマス

併ナガラ其保險料率等ニ於キマシテハ、別ニソレガ非常ニ高クナルト云フヤウナ懸念ハ今持ッテ居ラナイノデアリマス、保險料率等ニ於キマシテハ大體御手許ニ廻シテアリマスカ、サウ云フ程度ノ保險料率デアリマシテ、隨テ是ガ勞働者ノ賃銀等ニ影響スルコトハナカラウト考ヘテ居リマス

次ニ勞働者災害扶助責任保險法案ハ前述事業主ノ扶助責任ニ關シ、扶助ノ支給ヲ確保シ、勞働者ノ保護ヲ圖ル爲メ、且ツハ事業主ノ負擔ヲ容易ナラシムル爲ニ保險ノ制度ヲ設ケントスルモノデアリマス、本保險ハ事業主ノ扶助責任ヲ保險スルモノデアリマスカラ、其態様ハ事業主ノ保險デアリマスカラ、本保險ト扶助トハ密接不可分ノ關係ニアリ、實質ニ於テハ社會保險ノ作用ヲ爲シ、又扶助ニ關スル事業主ト勞働者ノ紛議ハ、多クノ場合保險者ニ依ッテ解決セラレルトコト、ナリマスカラ、本保險ハ國營保險トシタノデアリマス、保險ニ加入スル範圍ニ付テハ土木建築工事ニ付テハ、勞働者ノ保護及ビ事業主ノ便宜ノ兩方面ヨリ劃一的ニ強制スルコト、シ、其他ノ事業ニ付テハ任意加入ノコト、致シマシタ、從來カラ保障ノ行ハレテ居ッタ工場鑛山ニ付テモ、國營保險ヲ設ケタ以上、保險ノ途ヲ開クテ適當ト考ヘ、任意加入ヲ認メル豫

○山邊委員長 皆様ニ御諮シマスカ、此勞働者災害扶助法案外二件ハ相關聯セル議案デアリマスカラ、一括議題トシテ審議ヲ進メタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

○山邊委員長 ソレデハ其通りニ致シマス——板谷君

○松田委員 例ヘバ鑛山工場ノ勞働者ニ對シマシテハ健康保險法ト云フモノガ適用サレル、隨テ之ニ對シテハ建前ト致シマシテ國家ガ十分ノ一ヲ持ツト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカ、此法案ハ準備金ダケハ出スケレドモ、後ハ事業主ガ全部負擔スルト云フ建前ニナッテ居ルト云フコトデアリマスカ、其結果ト致シマシテ、事務費ハドレ位掛ルカ、私ハマダ參考書ヲ能ク見テ居リマセヌカラ分リマセヌケレドモ、掛ッタダケ事業主カラ取ル結果ニナルト云フコトハ當然ノ事デアルト思フ、サウスルト今申シタヤウニ事業主ノ負擔ガ重クナル、重クナルト云フコトハ、一面ニ於テソレガ勞働者ニ輾轉サレル結果ガ先ト云フコトモ、是亦當然ノ歸結ト思フノデアアル、轉嫁ヲサレタナラバ此保險ノ趣意ニ副ハヌヤウニ思フノデアリマスカ、モウ一遍重ネテ御説明ヲ願ヒタイ

○板谷委員 本案ニ付キマシテハ政府カラ提出サレテ居リマス參考書ニ就テ色々調査ヲ致シマシテ、重ネテ質問シタイト思フノデアリマスケレドモ、先ヅ第一ニ立法ノ精神ニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマス、只今御説明ニ依リマスト、事業ハ國營トシテヤルト云フコトデアリマスカ、本案ニ現レマシタ所ニ依ルト、全然國家ハ損失ヲ豫想シテ居ラス、ノミナラズ剩餘金ガアッタ場合ニハ之ヲ積立テルト云フ極メテ慾張ッテ居ル、何ト言ヒマスカ、政府ハ空手デ商賣ヲスルト云フヤウナ法案ノヤ

○富田政府委員 此勞働者災害扶助法案ハ、先刻申上ゲマシタヤウニ、工場鑛山ト同ジヤウニ勞働者ニ無過失賠償ノ制度ヲ認メタモノデアリマシテ、勞働者ヲ使用シテ居ル場合ニ、勞働者ニ事故ガアッタ場合ニハ、其扶助ハ事業主ニ於テスルト云フ大體ノ建前ナノデアリマス、隨ヒマシテ保險ニ付キマシテハ、其事業主ノ責任ニ於テスルノデアリマスカラ、此保險ハ事業主ノ責任保險ナラデアリマシテ、事業主ガ扶助法デ責任ヲ負ッテ居リマスモノヲ、危險ノ分散ト扶助ノ確實ト云フ點カラ、保險ノ制度ヲ設ケタノデアリマスカラ、隨テ之ニ要スル事務費ト云フモノニ付キマシテモ、事業主ノ負擔ニスルト云フコトガ扶助法ノ精神ニ適合シマス結果、其責任ヲ保險スルト云フ意味ニ於テ、事業主負擔ト致シテ居ルノデアリマス、

○富田政府委員 健康保險ト比較ノ御

○富田政府委員 健康保險ト比較ノ御

話ガアリマシタカラ申上ゲマスガ、健康保險法ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ業務上ノ傷害疾病等ニ付キマシテ保險ヲ致シテ居リマスモノ、外、業務外ノモノニ付テモ保險ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此健康保險ノ保險ノ實際ト致シマシテ、此法律ヲ扶助致シテ居リマス業務上ノ傷害疾病ニ付キマシテハ、是ハ事業主負擔デアリマスガ、其點ハ工場鑛山ニ於キマスル健康保險ニ於キマシテモ、業務上ニ關スル限りハ、是ハ事業主負擔ト云フコトデア保險ノ基礎ガ立テ、アルノデアリマス、隨ヒマシテ此法律ヲ保障シテ居リマス労働者ノ業務上ノ傷害及ビ疾病ニ關スル限りハ、健康保險ト同ジヤウニ足ヲ合セマシテ事業主負擔ニ致シマスコトハ、健康保險ニ於ケル工場主及ビ鑛業主ノ責任ト少シモ經濟ノ負擔ニ於テ變ラヌノデアリマス、隨ヒマシテ是ダケノ負擔ヲ事業主ガ致シマシタカラト云ツテ、是ガ同時ニ労働者ノ負擔ニ轉嫁スルト云フ程ノコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

此法案ニ依リマスト公共團體ガ直營スル事業以外ハ總テ強制加入ト云フコトニナツテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、ソコデ民間ノ保險會社ガ先年來カラ團體保險ト云フコトヲ政府ニ申請ヲシテアル筈デアリマスガ、此保險法ガ實施ヲサレマシタ結果、即チ強制加入ト云フコトニナルナラバ、民間ノ團體保險、詰リ民間ノ事業ヲ壓迫サレル結果ニナリハセヌカト考ヘルノデアリマスガ、其點ハドウ云フ風ニ御覽ニナリマスカ

○**一宮政府委員** 民間ノ方デ團體保險ヲ開始シタイト云フ一ニ希望ハアツタヤニ聞イテ居リマスケレドモ、今日ノ保險界ノ現狀ニ於キマシテハ殆ド團體保險トシテ業務ノ見ルベキモノハマダナイノデアリマス、而シテ本事業ノ性質ガ社會保險ノ意味ヲ多分ニ持つテ居ルモノデアリマスカラ、之ヲ國營ト致シマシテ、サウシテ社會保險ノ目的ヲ達スルト云フコトハ、社會政策上ニ於テモ必要ナルモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ本國營法案ガ實施セラレマス結果、民間ニ於ケル團體保險ヲ壓迫スルダラウト云フコトハ、全然ナシトハ申上ゲ兼ヌマスケレドモ、殆ドナイノニ近イト申上ゲテモ差支ナイト思フノデアリマス

○**富田政府委員** 労働者ノ災害扶助ノ責任保險ノ委員會デアリマスカラ、相當事業主ヲ代表サレルト認ムベキ人、又労働側モ代表シ得ルト思ハレル人及ビ關係ノ官吏ヲ以テ組織シテ審議ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○**西尾委員** 本案ハ第五十六議會ニ於テ時ノ田中内閣ノ下ニ提案サレマシテ、當時本案ノ重要ナル缺陷トシテ所謂事業者側ノ立場ヲ理解スル人々ノ意見ニ於テモ、亦労働者側ヲ代表スル吾ノ意見ニ於テモ、其保險ノ給付ニ對シテ不安ガアリ、其不安ヲ除ク爲ニハ比較的資産力ノ薄弱ナ事業主ニ對シテハ國家ガ保障スルト云フ制度ヲ立テナケレバナラヌト云フ點ニ於テモ、雙方意見ガ一致シテ居ッタノデアリマス、其點ガ多ク汲取ラレテ本案ガ出來タノデアリマス、大體ニ於テ吾々ハ賛成デアリマスガ、唯伺ツテ置カネバナラヌ點ハ、此前ノ労働者災害扶助法案ノ適用範圍ニ付テ概數ヲ御示ニナツタ時分ニハ、百五十七萬餘ト云フコトニナツテ居タノデアリマシタガ、今度戴キマシタ法案ノ適用事業ノ労働者數ノ調ニ依リマスト五十一萬七千、約三分ノ一ニ適用範圍ガ狭メラレテ居ルノデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマセウカ

○**板谷委員** 私ハサウハ考ヘテ居リマセス、民間ノ事業ヲ餘程壓迫スル結果ニナルデアラウト思フノデアリマスカ、ソレハ意見ノ相違トシテ置キマシテ、尙ホ伺ツテ見タイト思フノハ、何レテ逐條審議サレルコト、ハ思ヒマスケレドモ、労働者災害扶助法案ノ第七條ニ「事業主災助ヲ爲スベキ場合ニ於テ其ノ資力アルニ拘ラズ扶助ヲ爲サザルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」資力アルニ拘ラズ」ト云フノハドウ云フコトヲ標準ニ御判斷ニナルノデスカ、資力ガナイナラバ別ニ罰金ノ適用ハタイト云フコトニナリマスカ、資力アルニ拘ラズト云フノハドウ云フ意味デスカ

○**富田政府委員** 第七條ノ意味ハ扶助スル資力ガアル、然ルニ正當ノ理由ナクシテ支拂ハナカッタ場合ニ罰金ニ處ス、斯ウ云フ意味合ナノデアリマス

○**板谷委員** ソレカラ労働者災害扶助責任保險審査會ト云フモノガ勅令ヲ以テ設ケラレルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハドシナ範圍デ此審査會ハ設ケラレルノデアリマスカ

○**富田政府委員** 曩ニ調ベマシタ時ハ此法律ノ適用ヲ受ケマス事業ノ全體、隨テ其者ガ業務ニ從事シテ居リマスト居ラザルトト問ハズ、例ヘバソレガ失業シテ居リマシテモ、全體ノソレニ關係シテ居ル労働者ノ總數ヲ調べタノデゴザイマス、所ガ今回調べマシタノハ、

○**板谷委員** 其點ニ付テハマダ私ハ參考書ヲ能ク見テ居リマセヌカラ保留致シテ置キマシテ、今ノ政府ノ御答辯ハ諒解シ兼ヌマスカラ、何レ重ネテ御尋スルコトニ致シマシテ、其次ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

○**板谷委員** 私ハサウハ考ヘテ居リマセス、民間ノ事業ヲ餘程壓迫スル結果ニナルデアラウト思フノデアリマスカ、ソレハ意見ノ相違トシテ置キマシテ、尙ホ伺ツテ見タイト思フノハ、何レテ逐條審議サレルコト、ハ思ヒマスケレドモ、労働者災害扶助法案ノ第七條ニ「事業主災助ヲ爲スベキ場合ニ於テ其ノ資力アルニ拘ラズ扶助ヲ爲サザルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」資力アルニ拘ラズ」ト云フノハドウ云フコトヲ標準ニ御判斷ニナルノデスカ、資力ガナイナラバ別ニ罰金ノ適用ハタイト云フコトニナリマスカ、資力アルニ拘ラズト云フノハドウ云フ意味デスカ

茲ニ擧ゲテ居リマス法律ノ規定シテ居
リマス事業ニ、現ニ從事シテ居ル者ヲ
調査致シタノデアリマス、例ヘバ此扶
助法ハ土木建築ニ付テハ大體一萬圓以
上ノ事業ヲ經營シテ居ル者ニ適用シタ
イト考ヘルノデアリマスガ、隨テ其勞
働者ハ一萬圓以上ノ事業ニ現ニ從事シ
テ居ル者ノ數ヲ拾ッタノデアリマス、併
シ先ノ時ニハソレガ一萬圓デアルト否
トニ拘ラズ、又其者ガ現ニ事業ニ從事
シテ居ルト否トヲ問ハズ、例ヘバ失業
シテ居ッテモ、或ハ一時職カラ離レテ
居ッテモ、サウ云フ者ヲ全部含シタノデ
アリマス、サウ云フ關係上ノ今回ノ調
査ハ其數ガ非常ニ減ジテ來テ居ル譯デ
アリマス

字ガ、今御手許ニ差上ゲテ居ルヤウナ
數字ニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、曩
ノトハ多少ノ喰違ヒガ生ジテ居リマス
ノミナラズ、此五十一萬人ト云フノハ
昭和五年十月一日ノ調べニナッテ居リ
マス、斯ウ云フ土木其他ノ事業ガ非常
ニ惡イ時デモアリマシタシ、先ニ申シ
タヤウニ調査方法ガ違ッテ居リマスノ
ト、經濟事情ガ一層惡クナッテ居ル爲
ニ、數字ガ減ッテ居リマス、又正直ニ申
シマスト多少其調方ニ付テモ、入念ニ
シナカッタト云フ點モアッタカト思ヒマ
ス、併シ今回御手許ニ差上ゲテアル數
字ハ、吾々ハ正シイ數字ト考ヘテ居ル
譯デアリマス

ガ拔ケテ居ルト云フ御話ハ其通りデア
リマスガ、大體先ニ申述ベマシタヤウ
ニ工場鑛山ニ於ケル扶助ト同一程度ノ
扶助ヲ爲ス考デアリマス、細カイ所ハ
勅令ノ時デナケレバ分リマセヌガ、大
體工場鑛山ト同ジ扶助ヲスル積リデア
リマスケレドモ、其方針ニ付キマシテ
ハ、御手許ニ御配リシマシタ勅令ニ規定
スベキ事項ト云フノデ、御上ゲシテア
ル管デアリマスカラ、ソレニ依ッテ大體
御承知ヲ願ヒマス、要ハ工場鑛山ト大
體同様ノ内容ト御承知ヲ願ヒマス

以テ限度ト致シマスレバ大體ソレ位ノ
工事費ニナル、デアリマスカラ之ヲ唯
單ニ工事費ニ於テノミ限定シナイデ、
勞働者ノ使用數ノ延人員千人ト云フコ
トニ依ッテ大體標準ヲ設ケタイト云フ
考デ、千人ト云フコトニソシナニヤカ
マシイ標準ヲ置イテ居ル譯デハナイノ
デアリマス、大體一萬圓ト云フコトヲ
標準ニシテ、サウシテソレニ勞働者延
人員千人ト云フコトモ標準ニシテ居ル
ノデアリマス

○西尾委員 サウ御説明ヲ伺ヒマス
ト、大體事業別ノ適用範圍ヲ前ノト較
ベマスト同ジデアリマシテ、寧ロ或モ
ノニ取ッテハ擴張シタノデハナイカト
思フヤウナ點モアルノデアリマス、事
業ノ範圍ニ於テ少クモ從前通り、サウ
シテ人員ニ於テ三分ノ一ニナッテ居ル
ト云フコトハ餘リニ減リヤウガ違フノ
デアリマス、何カ是ハ他ニ理由ガアル
ノデハナイデセウカ

○西尾委員 ドウモ其御説明ダケデハ
餘リ數字ガ違フノデアリマスカラ諒解
出來ナイノデアリマス、尙ホ能ク御調
ベニナッテ、モット得心ノ行クヤウニ後
ノ機會ニ説明シテ戴ケバ結構デアリマ
ス

○西尾委員 第一條ノ第二項ノ「ハ」デ
アリマスガ、是亦「勅令ノ定ムル規模
ノモノ」トナッテ居リマスガ、先程ノ政
府委員カラノ御説明ノ中ニ、一寸内容
ガ現レテ居リマスガ、請負工事費一萬
圓以上ト云フコトハ、此前ノ案ニモサ
ウ云フコトガアッタノデアリマシテ、其
點ニ於テ吾々ハ異議ハナイノデアリマ
スケレドモ、更ニ延人員千人以上ト云
フ限界ヲ設ケマシテ、延人員千人以下
ノモノヲ御省キニナッタ其理論及ビ其
根據ハ如何デアリマスカ

○西尾委員 實際ノ事業ヲヤル場合
ニ、一萬圓以上ノ工事費ト云フコト、
延人員ノ千人ト云フコト、大分實際ニ
於テハ開キガアリハシナイカト思フ、
延人員ノ千人モ使フヤウナ工事デアッ
タラ、數萬圓ノ工事デハナイカト思フ
ノデアリマス、私ハサウ云フ事ニハ素
人デアリマスケレドモ、如何デアリマ
スカ

○富田政府委員 今回ノ數字ハ先ニ申
シマシタヤウニ、此當該事業ニ付キマ
シテ一定ノ標準ヲ示シマシテ、之ニ該
當シテ居ルモノト云フノデ調上ゲタ數

次ニ御尋致シタイノハ本案ニハ多ク
勅令ヲ以テ定ムルト云フ、サウシテ極
メテ重要ナ點ハ勅令ヲ以テ定メルト云
フコトニナッテ居リマシテ、其内容ヲ吾
吾ハ窺知ルコトガ出來ナイノデアリマ
ス、之ニ付テハ何カ材料ヲ御出シ願ヒ
タイ

○富田政府委員 是モ無論マダ未定稿
デアリマシテ確定ノモノデアリマセヌ
ガ、大體ニ工事費用デアレバ一萬圓程
度以上ノモノニスル、ソレカラ又、ソ
レヲ使用勞働者數カラ申シマス、大
體ソレニ該當スルモノハ延人員千人ヲ

○富田政府委員 工事費用ニ依ッテ標
準ヲ置キマス場合ニ於テハ大體一萬
圓、ソレカラ、ソレバカリデナク、費
用ヲ標準トシナイデ、人ヲ以テ標準ト
スルト云フヤウナ場合ニ於テハ、延人
員ノ千人ト云フモノモ亦其標準ニシ
テ、ドチラカニ依ッテ標準ヲ定メテ行キ
タイト云フ考ナノデアリマス、唯一方
ル場合ニハ延人員千人位ヲ以テ限度ト

○富田政府委員 扶助法ノ内容ハ如何
ナルコトヲ規定スルカ、其重要ナ事項

○富田政府委員 扶助法ノ内容ハ如何
ナルコトヲ規定スルカ、其重要ナ事項

○富田政府委員 扶助法ノ内容ハ如何
ナルコトヲ規定スルカ、其重要ナ事項

○富田政府委員 扶助法ノ内容ハ如何
ナルコトヲ規定スルカ、其重要ナ事項

シ、ソレカラ請負價格ヲ以テスル場合ニハ其工事費用ハ約一萬圓ヲ以テ限度トスルト云フ考デアリマス

○西尾委員 其點ガ甚ダ明瞭ヲ缺クノデアリマス、人ヲ以テスルカ、或ハ請負金額ヲ以テスルカト云フコトノ判定ハドウシテ定メルノデアリマスカ

○富田政府委員 費用ト人トドチラカヲ標準ニ致シテ居リマスカラ、ドチラデモ、一萬圓ニナリマシテモ、或ハ延人員千人以上ニナリマシテモ、ドチラカニ達スレバソレヲ標準トシテ適用スルト云フ意味合ノモノデアリマス

○西尾委員 サウスルト例ヘバ五十人シカ延人員ガ要ラヌモノデアッテモ、一萬圓以上ノ費用ニナレバソレハ適用スルト云フノデアリマスカ

○富田政府委員 左様デアリマス

○西尾委員 サウ致シマスト千人以上ト數字ヲキメタコトガ甚ダ妥當ヲ缺イテ居ルト思フノデアリマス、サウ致シマスナラバ、例ヘバ是ガ或ハ百人以上ノ延人員——百人以上ニシテ一萬圓以上ノモノト云フ風ニスルノガ妥當デハナイカ、何カ此間ニ吾々ノ諒解出來ナイモノガアルヤウニ思フノデスガ……

○富田政府委員 土木工事アタリデハ一萬圓以下デアッテモ千人以上ノモノガアルヤウナ譯デアリマシテ、他ニ意味ハナイノデアリマス、曩ニ申上ゲマ

シタヤウニ、人カ又ハ請負費用カ、ドチラカヲ以テ標準トスルト云フノニ外ナラナイノデアリマス

○原委員 此災害扶助法ノ根本ノ精神ハ人ニアルト思フノデスガ、ソレヲ一面ニハ價額ヲ標準トシタリ、人ヲ標準トシタリスルト云フ、其基本觀念ハ何處カラ出テ來タノデスカ

○富田政府委員 勞働者ノ明瞭ナル場合ニハ宜イノデアリマスガ、可ナリ勞働者ノ數ノ明瞭デナイ場合モ、土木建築工事ナドニハアルノデアリマシテ、隨テ便宜上或ハ勞働者ノ數ヲ以テシ、或ハ請負工事ノ工事費用ヲ以テスルト云フヤウニ致シテ居ルノデアリマス

○原委員 價額ノ標準ガ一萬圓ナラバ斯ウ、延人員千人ナラスウ、ドチカラ取ッテモ大體ノ標準ハ間違ハヌト云フヤウナ意味合カラ御定メニナッタノダラウト思ヒマスガ、サウ云フ兩方ノ區別ノ標準ノ其連鎖ハ、ドウ云フ工合ニナッテ行クノデスカ、例ヘバ千人トシテ、一萬圓位ノ工事ハ大體千人位ノ延人員ガ掛ルト、斯ウ云フ意味合カラ來タノデスカ

○富田政府委員 土木工事アタリデハ一萬圓以下ノモノデアリマシテモ千人以上モ掛ルヤウナ場合モアルノデアリマスカラ、サウ云フ場合ガアリマス

トスルコトガ困難ナヤウナ場合ガアルノデアリマシテ、大體一萬圓ハ延人員一千人位ト云フ、此以上ノモノニ適用シタリ宜カラウト云フコトデ、便宜上人ト請負工事費ト云フモノヲ以テ、大體標準ニシタイト考ヘルノデアリマス、尤モ是ハ先程申シマシタヤウニ未定稿デアリマシテ、其勅令ノ内容デアリマスカラ、確定致シテ居ルモノデハナイノデアリマスガ、大體ソレ位ノ標準ニ致シタイト云フ腹案ヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス

○原委員 サウスルト腹案ニナリマスカラ、是ハ本當ニサウシナケレバナラヌト云フ意味合デハナイノデアリマスカ

○富田政府委員 左様デゴザイマス

○西尾委員 重要事項ノ腹案ノ一ノ「使用勞働者延人員千人以上ノモノ又ハ工事費用一萬圓以上ノモノ但シ二階建以下ノ木造住宅ノ工事ヲ除ク」ト此但書ニ付テ御尋シタイノデアリマスガ、此二階建以下ノ木造住宅工事ハ、ソレガ數萬圓ノモノデアッテモ此適用範圍外ト云フ意味デアリマスカ

○富田政府委員 サウ云フ意味デゴザイマス

○西尾委員 ソレハドウ云フ譯デアリマセウカ、ヤハリ幾分危険率ガ少ナイト云フコトニモナリマセウガ、併シ危険率ガ少ナイノデアッテ、危険ガナイト

云フ譯デハナイノデアリマスカラ、殊ニ又一軒二軒ト云フ小サイ家ト違ッテ、例ヘバ「バラック」建ノヤウナ大規模ノ二階建ノ家ヲ建テルト云フヤウナ場合ニハ、ヤハリ相當ノ危険率ガアルヤウニ思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハ但書ノ又但書ヲ附ケテ、ヤハリ金額ノ多イ大キナ工事ニ付テハ法ノ適用外ヲ適用内ニスルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、如何デスカ

○富田政府委員 大體普通ノ住宅デアリマシテ二階建以下デアリマスカラ、危険ガ比較ノ少イデモアラウ、ソレカラ普通ノ住宅デアリマスカラ危険ガ少イ、隨テサウ今御話ノヤウニ例外的ニ價格ノ高イ住宅モナイトハ申シマセウケレドモ、大體カラ觀察致シマスレバ、二階建以下ノ住宅ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、適用シナクテモ宜イデアラウト云フ大體ノ觀察カラ、二階建以下ノ木造住宅ニ付テハ之ヲ除外致シタノデアリマス

○西尾委員 私ハ今朝參考資料ヲ戴イタノデ、マダズット眼ヲ通シテ居リマセウカラ、私ハ本日ハ此程度デ保留シテ置キマス

○山邊委員長 本日ハ此程度デ散會致シマシテ、次會ハ公報デ御知ラセ致シマス

午後零時二分散會

昭和六年三月十二日印刷

昭和六年三月十三日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社